



第14号

平成30年3月23日

六ツ美中部小学校

第71回卒業証書授与式 (平成30年3月20日)



一年生から三年生の子供たちは、卒業生とお別れの会を行いました。登下校や清掃活動、交流活動で導いてくれた六年生に、感謝とお祝いの気持ちを伝えました。在校生代表として卒業式に参加した四、五年生の送る言葉と歌は、会場中の人々の心の響き、跡を引き継いでいこうとする決意を感じる立派な姿でした。
六年生の背中はいつもたくましく、その表情は愛らしく、そして、その手はいつも温かいものでした。六ツ美中部小学校の歴史をまたひとつ紡いでくれた、そのひたむきな心と力を私たちは忘れません。おめでとございませう。

卒業生の願いを乗せたバルーンは、雨空の中も力強く昇り、白い空の向こうに吸い込まれるように飛び立っていきまいた。あなたたちの輝く未来に届きますように。

思いやりの

バトンタッチ

教務主任 大山 和久

先日、ある保育園の先生からこんな話を伺いました。

「この園から一人だけ中部小に入学する子がとても不安がっていたのですが、就学時健診のときに、上級生のお姉さんがとても優しくしてくれて、大丈夫だよと声をかけてくれたことがとてもうれしかったようで、その日から小学校への入学をとても楽しみにしています。」

卒業式の代表児童のことばにも、六年生と一年生のペア学級での思い出が何度も出てきました。六年生のみんなが示してくれた思いやりの心が、下級生の心にしっかり響いて、さらに次の世代へと引き継がれているようです。お手本を見せてくれた六年生、御卒業おめでとございませう。そして、ありがとうございます。